



北海道の空をつなぐ 丘珠空港

昭和17年に設置された丘珠空港。昭和31年から旅客機の運航を開始し、札幌と道内の各都市を結んできました。平成22年のA-net^{*1}の新千歳空港への移転に伴い、利用者が減少しましたが、この6月からHAC^{**2}が新千歳空港発着路線を丘珠に集約することを決定。引き続き道内航空ネットワークの拠点としての役割を担っていきます。

※1:株式会社エア・ニッポンネットワーク ※2:株式会社北海道エアシステム

丘珠空港
DATA

- 利用者数/1日約430人(平成22年度)
- 運行便数/1日22便(平成23年6月から)

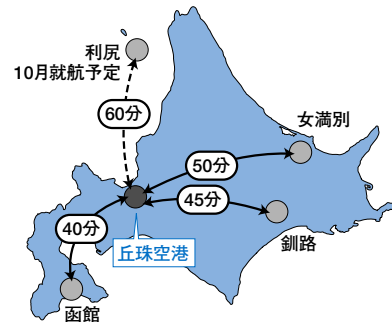
意義

都心から近く、 圧倒的な速さで都市を結ぶ

都心から直線で約6キロの至近距離にある丘珠空港。バスを利用すれば都心から30分、地下鉄栄町駅から5分でアクセスできます。

函館、釧路、女満別との定期便が発着しており、札幌と道内の各都市を1時間以内で結ぶことから、道内のビジネスをはじめ、通院や医師派遣などに利用される、航空の拠点になっています。

■丘珠空港の発着路線



今年10月から新たに利尻線が就航予定であり、道内の航空ネットワークはさらに広がる

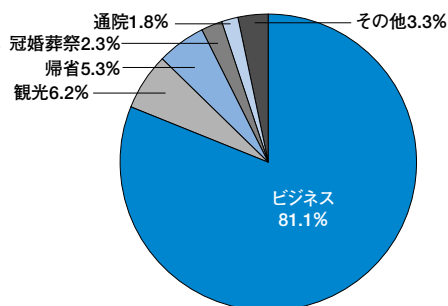
課題

利用者を増やすため、 より便利で親しまれる空港へ

市は、札幌と道内各都市を結ぶ航空ネットワークを支えていくべきであるとの考えから、道内の他の自治体や経済界とともにHACに出資しました。

今後は、丘珠空港の身近さや便利さを、市民によりよく知ってもらい、利用者数を伸ばすことが必要です。移動時間の短さを生かした観光利用をPRするなどの取り組みを、関係機関と共に続けていきます。

■丘珠空港の利用目的(H22年度北海道調べ)



ビジネス利用が全体の8割を占める中、観光利用は1割に満たない

公共交通を生活に取り入れることが まちの将来にとって必要です

今回紹介した公共交通は、いずれも高齢化の進む札幌の将来にとって、欠くことのできない貴重な財産であり、多くの市民の方が「札幌を好きな理由」として「公共交通機関の充実」を挙げています。ぜひ、これらの交通機関を生活の中に取り入れ、市内外の移動に利用してみてください。誰もが安心して移動できる、札幌の公共交通を支えるために。

地下鉄、JR、
バスの時刻
などが分かる
「えきバス・ナビ」



地下鉄、バスなどの時刻表や乗り継ぎ経路の情報を、発着駅や最寄りの施設などから検索できます。
(パソコン) ekibus.city.sapporo.jp
(携帯電話) <http://ekibus.city.sapporo.jp/m/>

